

平成20年度(第1回)鳥取市国民健康保険運営協議会議事録

1. 日 時 平成20年11月20日(木) 午後3時
 2. 会 場 市役所駅南庁舎 地階第6会議室
 3. 出席者
 委 員 金子会長、林会長代行、若林委員、千々和委員、濱谷委員、
 岡村委員、公納委員、山内委員、有本委員、乾委員、松浦委員、
 大津委員、中村委員、平山委員
 鳥取市 事務局 木下部長、坂本課長、山崎参事、小嶋課長補佐、
 西村主査兼収納係長、長本係長、蔵増主任

4. 会議状況

発言者	発言内容(要旨)
坂本課長 木下部長 坂本課長	(開会) (あいさつ) 会議に先立ちまして、委員の変更がありましたので新委員を紹介させていただきます。
林会長代行	(被保険者代表の若林委員及び被用者保険代表の笹川委員(都合により欠席)を紹介) 本日の会議は、委員17名のうち現在13名が出席ですので会議は成立することを報告します。なお、金子会長は都合により少し遅れるということですので、林会長代行に議事の進行をお願いします。 また、本審議会の議事録をホームページで公開することをご承知下さい。
林会長代行	(あいさつ) それでは金子会長が見えられるまで議長を努めさせていただきます。 はじめに議事録署名委員ですが、濱谷委員と山内委員にお願いしたいと思います。 それでは議事に入ります。 「平成19年度鳥取市国民健康保険費特別会計歳入・歳出決算について」事務局から説明をお願いします。
小嶋補佐 林会長代行 公納委員	(資料：平成19年度歳入歳出決算一覧表等に基づき説明) ただいまの説明について、質問や意見があればお願いします。 国保事業はこれまでたいへんだったということですが、先ほどの説明では、約31億円の老人保健拠出金はなくなるということですが、これは財政運営の余裕となってくるのですか。
小嶋補佐	平成19年度で老人保健制度は廃止され、平成20年度から後期高齢者医療制度がスタートしていますので、老人保健拠出金に変わり約18億円の後期高齢者支援金を支出しなければならないこととなっています。
公納委員	老人保健拠出金と後期高齢者支援金の差額といえますか、残りの金額はどうなるのですか。

発言者	発言内容(要旨)
小嶋補佐	75歳以上の方が後期高齢者医療制度に加入されたことにより、保険料収入が約14億円くらい少なくなりますので、老人保健拠出金がなくなったからといって、国保財政が好転することとはならないということです。
平山委員	基金繰入金についてですが、19年度は2000万円取り崩しをされたということですが、基金残高はいくらあるのですか。
坂本課長	現在約4億8千万円です。
林会長代行	予算では約2億円の基金繰入れを予定されていましたが、なぜ少なくて済んだのですか。
坂本課長	予算上は約2億900万円繰り入れする予定としていましたが、国の補助制度があり、その補助を受けることができたため、基金繰り入れが少なくて済んだものです。具体的には、結核・精神病に係る医療費について、その医療費が総医療費の15%を超えた場合は、補助を受けることができるというものであり、平成19年度は特別調整交付金として約1億3200万円を国からいただけたことによるものです。
林会長代行	昨年、一昨年と基金残高が少なくなるということで心配していたわけですが、基金取り崩しが少なくて済んだということは、制度改正によるメリットがあったということですか。
坂本課長	そうではなく、結核・精神病に係る国の補助は、総医療費の15%を超えないともられませんので、平成19年度は精査したところ、15%を超えることとなり、その補助を受けることができたということです。
林会長代行	基本的な解消にはなっていないということですね。
坂本課長	将来総医療費が増加し、15%を超えないこととなった場合にはもらえないこととなります。
公納委員	財政が困窮しているということとなると保健事業はそれなりの対応が必要になると思いますが、先ほど「鳥取市民健康ひろば」や「童謡・唱歌100曲マラソン」、「グランドゴルフ大会」を実施されたという説明がありましたが、どの程度効果をあげていると評価されているのですか。
坂本課長	グランドゴルフ大会については、高齢者の方は毎年たいへん楽しみにされています。医療費にどうつながってくるのかはわかりませんが、みんなで元気に集まれる機会をつくることが保健事業として必要だと考えています。
公納委員	童謡・唱歌100曲マラソンは、たくさんの老若男女の方々が集まっていたいただき、大きな声で100曲歌っていただくわけですが、大きな声で歌を歌っていただくことにより自分の健康をチェックしていただく機会を設ける事業として実施しているものです。
公納委員	個人個人の自分の健康に取り組む意識を育成することが大事だと思います。最近は寿命が長くなっており、100歳以上の方の数も万を超えているという状況にあります。長寿者はそれなりの自己努力をされ、医療にもあまりかかるとも思いません。鳥取市内にも100歳以上の長寿の方がおられると思いますので、そういう人から話を聞くという取り組みもやってみてはよいのではないかと思います。
坂本課長	国保の保健事業は保険料を財源として行っているものですので、今言われた事業は市の一般施策の方で行っています。例えば敬老会とか金婚・ダイヤモンド婚式とかは高齢社会課が行っていますし、健康対策に

発 言 者	発 言 内 容 (要 旨)
林 会 長 代 行	<p>については保健センターが実施しています。 金子会長がお見えになりましたので、ここからは会長に議事進行をお願いします。</p>
金 子 会 長	<p>それでは、「出産育児一時金の額の加算について」事務局から説明をお願いします。</p>
小 嶋 補 佐 金 子 会 長 公 納 委 員	<p>(資料2：出産育児一時金の額の加算について説明) ただいまの説明について、質問や意見があればお願いします。 3万円加算することには異議はありませんが、最近、急患の拒否とかたらい回しという問題がおきていますが、鳥取市における産科の医師の数は、そういう場合に対応できるか数が保障されているのですか。</p>
坂 本 課 長	<p>県によりますと数的には充足しているということですが、問題は子供が生まれた後の新生児を診る小児科医が不足しているという実態があります。</p>
公 納 委 員	<p>小児科医不足という問題があるということですが、長期的展望をもって今後とも長期にわたり保障ができるような体制づくりを行っていただきたいと思います。</p>
坂 本 課 長	<p>鳥取市全体の取り組みとして、県とも国とも連携を取り、国保のみならず全体として取り組んでいきたいと思います。</p>
平 山 委 員	<p>産科医療保障制度の加入率といえますか、加入状況はどうか。</p>
小 嶋 補 佐	<p>11月14日現在の状況ですが、鳥取県内にも1医療機関が加入されていない状況であり、100%加入という状況ではありません。</p>
濱 谷 委 員	<p>加入されていないのは、何か条件とか理由があるのですか。</p>
坂 本 課 長	<p>リスクがないということで加入されていないのか、分娩費を安くしたいということなのか、そこらあたりはよくわかりません。</p>
金 子 会 長	<p>出産育児一時金の額を加算することについて、委員のみなさんご異議はありませんか。 (異議なし)</p>
金 子 会 長	<p>次に、「平成20年度鳥取市国民健康保険事業の状況について」事務局から説明をお願いします。</p>
小 嶋 補 佐 山 崎 参 事 金 子 会 長 公 納 委 員	<p>(資料3：平成20年度鳥取市国民健康保健事業の状況に基づき説明) ただいまの説明について、質問や意見があればお願いします。</p>
公 納 委 員	<p>今までは健診の案内がきていたと思いますが、特定健診の案内は出されているのですか。また、健診の内容ややり方は従来どおりですか。今までとちがうのですか。</p>
小 嶋 補 佐	<p>平成20年度から特定健診が各保険者に義務付けられることとなりましたので、40歳以上の本市の国保被保険者には受診券をお送りしています。 健診内容は、今までの基本健診とほぼ同様ですが、メタボ健診ともいわれており、新たに腹囲の測定が検査項目となっています。この特定健診の目的は、生活習慣の改善により医療費を少なくしていこうということで行われることとなったものです。</p>
平 山 委 員	<p>受診者が少ないようですが、その対策はどのようにされているのですか。</p>
坂 本 課 長	<p>実際にはもっと受診されていますが、健診データを国保連へ送付する</p>

発 言 者	発 言 内 容 (要 旨)
若 林 委 員	<p>こととされており、そのデータの受け渡しに障害があっている状況にあるようですので、今後はもっと増えていくものと思います。</p> <p>今後とも、健康講演会やポスター、とっとり市報、CATVなどで受診していただくようPRしていきたいと考えています。</p>
坂 本 課 長	<p>前納報奨金をやめたのはどういう理由だったのですか。徴収率を上げるためには復活すべきだと思いますが。前納報奨金をやめたために徴収率が下がったのではないのですか。</p>
金 子 会 長	<p>前納報奨金制度については、いろいろ議論があり、3年間かけて廃止することとしました。19年度は3分の2の額とし、20年度から廃止しております。前納報奨金の額は、市税も合わせて約1億円近い額となっておりますし、また、前納制度はお金を持っている方を優遇しているのではないかという考え方もあり、そこらあたりを総合的に検討して廃止することとしたものです。米子市なども廃止しており、全国的にも廃止する方向にあるようです。1年間の保険料を一括で払うか8回に分けて払っていただくかということで、前納報奨金を廃止したことにより、全体の収納率が下がることに直接結びつくことにはならないとは思いますが、前納報奨金の廃止による負の部分が現在表れているという状況のようです。12月、1月の状況をみていかないといけないと思っていますが、今までよりも収納対策を強化し、努力していきたいと思っています。</p>
小 嶋 補 佐	<p>他に何かありますでしょうか。</p> <p>ないようですので議事は終了します。</p>
金 子 会 長	<p>その他、事務局から何かありますか。</p> <p>(今後の協議会の日程等について説明)</p> <p>それでは、これで本日の協議会を終了します。</p>
<p>閉会 午後4時30分</p>	

この会議録は、協議会の決定事項等と相違ないことを証明する。

平成20年 月 日

会議録署名委員

会 長

印

署名委員

印

署名委員

印